



垂井から全国の舞台へ



第4回全国U15バスケットボール選手権大会
(東京都)



BRUINS
高橋遼さん(不破中3年)

第12回U15クラブバスケットボールゲームス
(愛知県)



BRUINS
竹中麗乃さん(北中3年)

第32回全国小学生バドミントン選手権大会
(沖縄県)



垂井ジュニアバドミントンクラブ
平墳みなみさん(表佐小6年)

第14回ヨーロッパ国際ピアノコンクールin Japan
第25回シヨパン国際ピアノコンクールin ASIA
全国大会(神奈川県)



小坂音葉さん(岐阜大学3年)

第29回全日本U-15フットサル選手権大会
(栃木県) 優勝



翼SCレインボー垂井U-15

第102回全国高校サッカー選手権大会
(東京都) 準優勝



近江高校3年
安田旭さん
川上隼輔さん

▲安田さん(左)、川上さん(中央)



12/28 年末夜警を実施しました



垂井町消防団による年末夜警(12/28～30)が実施され、激励会および出発式が役場で行われました。団員たちは、地域の安全を守るため、気の引き締まった表情でパトロールへ出発しました。

12/22 消防団の小型動力ポンプを更新しました



消防団宮代分団の小型動力ポンプの更新を行い、伝達式を行いました。

小型動力ポンプは、山間部や消防車両が入れない路地などで活躍します。万が一火災が発生したときは、現場に駆けつけみなさんの安全を守ります。

1/10 はじめてのスマートフォン体験型講習会



スマートフォンをまだ使ったことのない人や、使い方がわからない人に対する講習会を垂井ホールで開催しました。電話のかけ方やインターネットの利用方法などの基本講座から、マイナンバーカードの申請方法などの応用講座まで、理解度に合わせて使い方を学習しました。

1/7 七草がゆの振る舞い



町食生活改善協議会によって七草がゆ300食が保健センターで振る舞われました。

振る舞われたのは、町内で摘み取った七草に、焼き餅や梅干しが入れられた特製の七草がゆ。

訪れた人たちの身体を温め、1年間の無病息災を願いました。



地産地消でSDGs 垂井町産の野菜を楽しもう！



問 産業課 農林係 ☎22-7514

町内でSDGsに取り組む事業者を紹介します。

(農)栗原ファーム

全国的な農産物価格の下落による農業所得の低下や、農家数の減少が問題となっているなか、垂井町の農業を支えるため、安定的な農産物の供給だけでなく、SDGsにも積極的に取り組んでいます。



◀ 収穫の様子

お米だけじゃない！

あま〜くておいしいキャベツとブロッコリーが旬

栽培するのは米や大豆など多岐にわたります。なかでも、毎年キャベツを約1ヘクタール、ブロッコリーを約2ヘクタール栽培し、11月から12月頃にかけて収穫しました。

収穫後は全農を通じて販売され、その味はまるで果物のようにとても甘く、栄養価の高い旬の野菜です。



◀ 収穫されたキャベツ

採れた野菜を地元に届けたい

地域で採れた農産物を地域で消費してもらうことに積極的に取り組んでいます。採れた野菜は町の学校給食センターに出荷され、町内の小中学生の給食で消費されています。地域の子もたちに旬な野菜を新鮮なうちに食べてもらうことで、子どもたちの健康に一役を担っています。さらに、地元で消費することで遠方への輸送に必要な燃料の消費を抑えるなど、環境にも配慮しています。栗原ファームのみなさんは「地域の農家が作った農産物は、生産者を身近に感じることができ、地域ならではの農産物の味や魅力を感じることができます。ぜひ地元で採れる新鮮な野菜を手にとって欲しいです」と話します。みなさんの食卓を支えるため、今日も畑へ向かいます。



◀ 栗原ファームのみなさん

Quiz 広報クイズ

広報たるいを読んで、クイズに挑戦しよう！
全問正解した人の中から抽選で3人に賞品をお贈りします。
当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

- ▶ 応募資格 / どなたでも
- ▶ 応募方法 / 次のいずれかから応募

応募手段	応募方法
1 応募フォーム	QRコードまたは町ホームページからアクセスし、必要事項を記入し送信
2 ハガキ	ハガキの裏面に「広報たるい2月号広報クイズの応募」、クイズの解答を記載し、以下へ郵送

▶ 応募期限 / 2月19日(月) 必着

申・問 〒503-2193 垂井町宮代2957番地の11
垂井町役場 企画調整課
地域振興係 ☎22-1152



▶ 応募はこちら

1月号の答え：①家庭の日 ②すごろく ③4
応募総数：63

今月の賞品



和菓子セット(みどりや)

問題

- ①性的指向や性自認に関する差別や嫌がらせを「●●●●●●」といいます。
 - ②地域の課題解決のために、町と協働して実施する「●●●●協働事業」
 - ③2月20日は「●●●●●●の日」
- 正解は来月号のこのコーナーでお知らせします。